

NPO 法人 かながわ外国人すまいサポートセンター



ニュースレター No.43

“すまセン”の窓口ではスタッフが10ヶ国語で相談を受け付けています。
アパート探しの内見や契約後の問題発生など必要に応じて通訳を派遣します。
お気軽にお尋ねください。

理事長あいさつ

25年前の今頃は外国籍住民のすまいに関する相談を受ける団体を設立するために、神奈川県国際課職員、外国籍県民かながわ会議（以下外国人会）委員、個人の外国人、外国人支援を行う団体、なんと言っても神奈川県宅地建物取引業協会、全日不動産協会神奈川本部、日本賃貸住宅管理協会が共に汗を流していました。

外国人の住まいをめぐる問題は戦前から発生しており、重大な人権問題だったにも関わらず放置され、プライベート案件として扱われてきました。

外国人会議にて外国人だと言う理由で住まいを貸してもらえないと言うインドシナ難民の方の発言を受け、会議が一体となり外国人の居住問題に取り組むことになりました。行政、不動産業界団体、外国籍市民、市民団体、民族団体が地域の課題を解決すべく共に行動を起こすことは画期的なことでした。

2001年3月かながわ外国人すまいサポートセンターは、横浜YMCA2階に相談窓口を設け、以来約25年間外国人や生活に困難を抱える方々を支えてきました。2024年度の相談件数は3000件以上となり、13言語で相談対応をしています。誰か一人の力だけではなく、さまざまな方々との信頼と連携、協力があったからこそ困難な問題に立ち向かい解決することができました。季節も社会も厳寒の時期となりましたが、私たちだけでも相談を寄せて来る方々を暖かく迎えたいと思います。

来年は良い年になるよう一層皆さまとの信頼と絆を深めていきたいと思います。



かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 裴 安



あーすフェスタフォーラム2025開催

東海大学小貫大輔教授に「SNS時代の多文化共生を考える」をテーマに講演していただきました。SNSは便利である一方、匿名性や断片的な情報によって誤解や偏見が増幅される場になり得るため、リアルな対話の重要性を説いてくださいました。また、講演後のグループワークと横浜シュタイナー学園佐藤先生の講義を通して、文化背景の違いを体験しながら『信頼』

『コミュニケーション』『SNSの影響』について意見交換しました。参加してくれた、神奈川朝鮮高級学校、東海大学、ブリティッシュインターナショナルスクール、ベイジョ・メ・リーガ、横浜シュタイナー学園の皆さん、ありがとうございました。最後はラッパーFuniが登場しフォーラムは最高潮に盛り上がりました。



※YMCA ウェルカムフェスタ 2025にご協力いただきありがとうございました。すまセンは売上金10470円の一部をウェルカムフェスタ協賛金としてYMCAに納めています。

すまセン出会いインタビュー

ー有限会社ヤマカプランニング編ー

Q 開業当時についてお話をお聞かせください。

→私と粕谷社長は西谷の不動産店に勤めていたため、土地勘のある鶴ヶ峰に平成 16 年に開業しました。開業するにあたり事務所が借りられず大変でした。当時は不動産店に貸してくれないことも多々あり法務局で空いている店舗を探して直接問合せしたりしました。また事業が軌道に乗るまではつらい時期もありました。「給料がなくてもやる。自分の給料は自分で稼ぐ！」と心に決めていたので、2 人分の給料と経費が稼げれば何とかなんと頑張りました。

独立する直前に、精神障がいの方の作業所の立退き移転のお手伝いをしたことがきっかけで、精神障がいの方の部屋探しの依頼がくるようになりました。当時は居住支援制度など何もなかったため、自分で考えるしかなく、手探りの状態で始めたのを覚えています。私としては顔を見て話ができるような間柄になれば問題はないのではないかと考え、毎月家賃を持ってきてもらうようにしました。それから、少しずつ入居のお手伝いをさせていただくようになりました。

Q 開業当初から精神障がいの方の部屋探しをしていたのですね。

→1 件やると次は病院からお願いされたりとどんどん話がきました。大手不動産店さんや他が引き受けないので、うちに来ているのだと思います。私は障がいがある方も社会に出ていくべきだと思っています。精神障害者に対する法律が変わっても引き受けないのは間違っていると感じています。

また、支援団体とつながっているかどうか大きいと思います。私は必ず支援団体を通すようにしています。支援団体と連携することで、その方の問題や現在の状況をきちんと把握でき、何か問題が起こったとしても支援団体につなぐことができるからです。これが本来の見守りであり、このようなシステムをどうにかつくるのが今後の課題ではないでしょうか。

Q ヤマカプランニングさんの今後の展望などありますか？

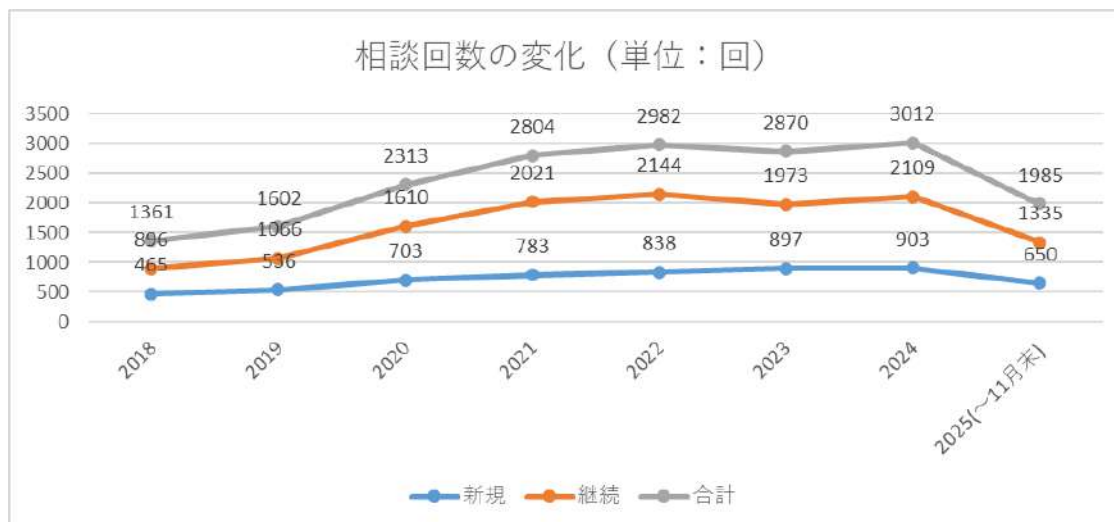
→やはり 8050 問題ですね。役所からくる話がほとんどですが、今役所でも問合せが多く対処しきれない状況だそうです。うちは賃貸と売買も両方やっているので、実家を売却し次の入居先も決めることができます。きちんと整理することで当面暮らしていけるお金が入り、今までと同じように安定した生活を送ることができます。必要ならばその時点で支援をつけても良いと思います。そうすることで親御さんも安心できると思います。この問題はこれからどんどん出てくると思います。他の不動産店も取り組みやすい仕組みづくり、箱づくりをぜひ居住支援協議会で作ってほしいです。

山下さんはインタビューの中で、“社会に溶け込むことの大切さ”、“普通に生活して生きていけることの大切さ”を繰り返し口にされていました。「一人でも多く方が幸せにまた平和に暮らせることが一番大切」と熱い思いを語ってくださいました。

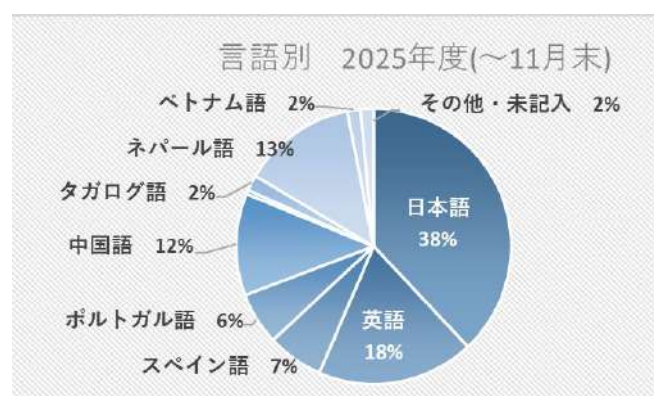


*すまセンインタビューは、不動産店や様々な関係機関を訪れ取材させていただく連載記事です。

<2018年～2025年11月末までの相談回数変化>



<2025年相談内容と言語別データ>



2025年度「多文化共生を考える講座」が始まりました！



横浜 YMCA とすまセンの協働事業である「多文化共生を考える講座（全4回）」が、11月15日（土）から始まりました。午前の座学「ともに生きる地域を目指そう」では、外国人が日本で生活ようになった歴史的背景や、すまセンの相談事例から共に生きる地域社会づくりについて考えました。外国人との共生をどうすれば「自分事」として捉えることができるのか、周りの人にどうすれば伝わるのか、参加者がそれぞれの立場から意見交換しました。

午後は、伊勢佐木町でタイ人コミュニティの支援活動をしているカラバオの会タイ語相談人の新倉さんに、伊勢佐木町の街を案内していただき、街の歴史やこの地域にタイ人が多く暮らすようになった経緯について学びました。マンションの一室にあるタイ寺院にもお邪魔して、お坊さんやタイ人女性たちから直接お話を聞くこともできました。寺院は地域で暮らすタイ人の心のよりどころであると同時に、日本で生活していくための日本語学習や生活相談の場所にもなっています。

一日を通して、「地域でともに暮らしている」人たちとたくさん出会うことが、多文化共生を「自分事」として捉えるうえで大切なことのひとつなのではないかと感じました。

（次回は1月24日開催予定）



2025年度 会費をお納めいただいた方々 (2025年11月末現在)

◆個人 正会員

竹口/水田/三浦/安松/山田/木下/長田/月出/邊/金井/稲村/斐/鳥山/柳/森川/阿部/島貫/孔/星/高橋/高村/崔/佐藤/阿部/山下/長田/柳原

◆個人 賛助会員

小儀/今泉/高原/明星/佐々木/清水/荒木/丸谷/古村/車/ダム/野村/小池/李/佐渡/菅/宇佐美

◆法人 正会員

株式会社 おかだハウジング/徳永リアルエステート(株)/株式会社 杉浦商事/有限会社 第一産業/株式会社 昌栄/有限会社 エスク/株式会社 秋津不動産/オーキッド株式会社/株式会社 川崎中央プランナー/有限会社 寿不動産/(有)セントラルホームズ/株式会社 イチイ/株式会社 クレア/株式会社 アイホーム/(有)松中一級建築士事務所/居住支援法人 川崎ロイヤル株式会社/(有)ラディアン・ワークス/エス・ケーホーム(株)/ジャパンハウジング(株)/株式会社 トータルホーム/神奈川青年司法書士協議会/特定非営利活動法人ワーカーズコープ/株式会社 水島商事/株式会社 一和国际/株FUJIYAMA REAL ESTATE/公益財団法人 大和市国際化協会/株式会社 アイリス Welina 合同会社/ホームサポート有限会社 たなべ/株式会社 石川商事/徳増不動産株式会社/株式会社 フィニシア・センス

◆法人 賛助会員—有限会社 東郊住宅社/豊一管財株式会社/中中年事業団やまて企業組合

*波線は2025年新規会員

翻訳・通訳業務

◆文書の翻訳・一般通訳を有料で行っています！

《対応可能言語》

中国語・スペイン語・タガログ語・英語・タイ語
ポルトガル語・韓国朝鮮語・ネパール語・ベトナム語
ミャンマー語・インドネシア語・ウクライナ語など



《翻訳可能文書》

戸籍謄本・住民票・納税証明書・課税証明書
結婚受理証明書・フィリピンPSA証明書
会社登記簿謄本・在職証明書・運転免許証等

◆お問い合わせ先：

翻訳通訳担当 (火曜日・金曜日)
TEL 080-3315-1752



〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7
横浜 YMCA 2階

Tel: (045) 228-1752

Fax: (045) 228-1768

URL: <http://www.sumasen.com/>

Mail: sumai.sc@sumasen.com

アクセス

JR根岸線 関内駅南口より
徒歩5分
市営地下鉄ブルーライン 関内
駅 出口1番より徒歩5分
みなとみらい線 日本大通り駅
より徒歩5分

*横浜スタジアム向かい

ホームページも
ぜひご覧ください！



編集後記

あーすフェスタフォーラムにラッパー
Funi が登場した。彼のラップには、在日コ
リアンとしての彼自身の経験や1世への思
い、そして社会で感じてきた構造的差別へ
の思いが詰まっていた。不意に胸が締めつ
けられ、忘れていた感情が込み上げてきた。

生まれも育ちも年齢性別も全く異なる
2人の人生がオーバーラップしていた。

社会の掃き溜めで生きた1世、権利獲得
のために闘った2世。私たち3世は何を
してきたのだろうか。

忘れてしまったものと忘れられないもの
との記憶の中で、忘れてはいけないものを
胸に、熱い思いをラップに刻もう。(K.P.)